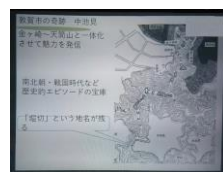


令和2年2月5日 特別講演会を開催しました！

ラムサール条約登録

中池見湿地の展望と課題

～ 敦賀活性化のために～



講師

上野山 雅子氏

NPO 法人 中池見ねっと

中池見湿地の現状と保全活用方法・課題について、具体的な数値やグラフを使ってわかりやすく説明して下さいました。上野山さんの敦賀愛に溢れるお話が、とても印象に残りました。

令和2年2月5日、NPO 法人 中池見ねっと 上野山 雅子氏を講師にお招きし、「中池見湿地の展望と課題 ～敦賀活性化のために～」と題し講演会を開催しました。一般の皆様にも広くご参加頂き、講演の内容は地元ケーブルテレビ RCN でも紹介され、大変有意義な講演会となりました。

中池見湿地について、学術的価値が高く世界が注目している泥炭地であること、60種類以上の絶滅危惧種を含む、約3,000種類の動植物の生息地であることが説明されました。また、中池見湿地は人の手が入ることで守られている「二次的な自然」であり、用水路に生えた草を取り除く、外来種の駆除など、様々な保全活動・保全活用が行われている様子が紹介されました。

課題として、保全活用事業の財源である基金が4年後には枯渇する予定であり、活動を継続する為に、早急に改善策を検討しなければならない事が挙げられました。

上野山氏からは、「金ヶ崎から天筒山・中池見のエリアは南北朝・戦国時代など歴史のエピソードの宝庫であり、この

エリアを一体として敦賀の『自然と歴史』の魅力を発信したい、『地形・自然・歴史』はリンクしていると思うので合わせ持って発信すれば、もっと敦賀の魅力を伝えられるのではないかと提案がありました。

参加者からは、中池見湿地の「価値」や「現状」を、市民がもっと知ることが必要だとの意見が多く聞かれました。

今回の講演会で学んだことをどのようにして活かしていくかを協議し、各団体の皆様と連携して、敦賀の発展に寄与していけるよう邁進していきたいと存じます。



上 ビジターセンターと中池見湿地
右上 デンジソウ(絶滅危惧Ⅱ類)
右下 希少な渡り鳥 ノジコ

敦賀活性化支援協議会

【事務局】敦賀市本町1-6-1

敦賀活性化 支援



TEL 080-4253-1393

